

## ≪川越特別支援学校の活性化・特色化方針≫

<b>種別</b>	知的障害	<b>学部・学科</b>	小学部・中学部・高等部	<b>R8.5.1 児童・生徒数</b>	(男) 212 (女) 110	計 322
<b>アクセス</b>	J R川越線南古谷駅より徒歩30分 西武新宿線本川越駅、東武東上線・J R川越線川越駅東口より西武バス川越グリーンパーク行き古谷上バス停下車徒歩10分					
<b>&lt;教育課程等&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の障害や発達に応じた、持てる能力の開花を積極的に取り組む教育活動を実施</li> <li>・令和7年度より自立活動専任を配置し、自立活動の充実を推進した整備を実施（今年度2年目）</li> <li>・小学部では、様々な集会（進級おめでとう集会、季節の集会等）を通して経験を深めるとともに、一人一人の実態に応じた学習活動の実施</li> <li>・中学部では、実態を考慮しながら様々な経験を積んでいくように作業学習を5班体制で実施</li> <li>・高等部では、認識・社会性及び将来の進路を見据え、「職業」を3つのグループに分けて実施</li> </ul>						
<b>&lt;学校行事・部活動&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部、学年を超えた仲間の中で、協力し合い楽しみながら取り組む運動会</li> <li>・小・中・高のステージ発表やゲーム等で盛り上がる文化祭(かわYO!祭)</li> <li>・特別支援学校陸上競技大会・バスケットボール大会・サッカー大会に選抜した選手が出場</li> <li>・遠足、宿泊学習、社会体験学習、交流会、進路見学、産業現場等における実習などを通じた経験領域の拡大</li> </ul>						
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学部 国語</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中学部 調理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高等部 数学</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学部 修学旅行</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中学部 社会体験学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高等部 修学旅行</p> </div> </div>						
<b>&lt;家庭・地域との連携&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部、学年ごとの授業参観を年1回以上実施（小・中・高）</li> <li>・保護者向け進路説明会や施設見学会の実施</li> <li>・近隣小学校や中学校との交流及び共同学習（小・中）</li> <li>・川越たかしな分校との交流会（高）</li> <li>・近隣施設との交流や地域の方を招いての学習（小・中・高）</li> </ul>						
<b>&lt;進路&gt;</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職は約1割、施設などの利用が9割となっている</li> <li>【企業就労】サービス業（スーパー・食品の品出し、前出し）、特例子会社（ベッドメイキング、清掃）</li> <li>【福祉的就労】川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、川島町、上尾市、狭山市、さいたま市、志木市の障害者支援施設に就労</li> <li>・小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学している</li> </ul>						



# 県立川越特別支援学校～児童生徒の育成方針～

## 《概要》

- ・昭和47年4月、県下初の知的障害児が通学する県立学校として開校
- ・小学部、中学部、高等部の3つの学部
- ・個々の障害や発達に応じ、持てる能力の育成を図る教育活動
- ・児童生徒は、1市1町からスクールバスや電車、路線バス等を利用して通学
- ・平成20年4月、県立川越初雁高校内に川越たかしな分校（高等部単独）開校
- ・平成21年4月、条例改正により埼玉県立川越特別支援学校に校名変更

## 《学校行事》

令和7年度より、運動会は全校で1日開催となりました。  
令和6年度より、かわYO!祭は、全校で1日開催となり大盛況でした。



## 【小学部教育目標】

- 1 自分でやってみよう
- 2 元気な体をつくろう
- 3 友だちと楽しくあそぼう

## 学校教育目標 (R4～)

まなぼう つくろう つなげよう

## 目指す学校像 (R7～)

深く豊かな学びを通して、自立し未来を切り拓く力を育み、共生社会の実現に向けて地域と協働していく学校

## 重点目標 (R7～)

- 1 一人一人を大切にし、適切な指導と必要な支援を行う。
- 2 自立し、未来を切り開く力をつけるために、自立活動を充実させ、主体的な学びを実現する。
- 3 共生社会の実現に向けて地域に参画し、地域と共に考え、創る活動を行う。

## 【中学部教育目標】

- 1 自分で考え行動する。
- 2 健康な心と身体をつくる。
- 3 仲間と協力する。

## 《作業学習》

中学部・高等部の授業には『作業学習』があります。

中学部は「農園芸」・「陶芸」・「紙工芸」・「手工芸」・「環境整備」の5班で活動しています。

高等部は「農園芸」・「紙工芸」・「手芸」・「木工」・「陶芸」・「工芸」の6班で活動しています。



## 【高等部教育目標】

共生社会を目指し、未来を切り拓く力の基礎を育む  
～生涯学習の基、健康で豊かな人生を楽しむ  
主体的な青年を目指して～

- 1 社会参加に向けたキャリア教育の充実
- 2 社会に開かれた教育課程の実現
- 3 専門的な教科指導
- 4 生徒指導の充実

## 《地域との連携～共生社会の実現に向けて～》

- ◎地域における理解者・支援者を増やし、児童生徒が卒業後も自身の力を最大限に発揮できる地域づくり
- ・福祉・医療・労働などの関係機関と連携した支援の充実
- ・支援学習の拡大と充実
- ・交流及び共同学習(学校間交流)の充実(川越市立古谷小学校)
- ・小中学校教員等への支援・研修協力による障害理解の推進
- ・公開講座・ボランティア講座の充実による地域への情報発信と理解推進
- ・地域の社会福祉協議会との連携・協力

## 《高：クラブ活動》

高等部で総合的な探求の時間に取り組んでいます。  
音楽部・ダンス部・球技部・ランニング部  
ウォーキング部・芸術部・ボードゲーム部・レク部

## 《高：特体連》

各種大会ごとに参加希望を募り、参加しています。  
○陸上記録会 ○バスケットボール交流大会  
○サッカー大会 ○バスケットボール大会